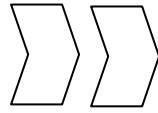


## 成城祖師谷 9 条の会

# PEACE WALK

- 集合 10月12日(土)15時, 祖師谷3丁目公園  
今月から冬時間を適用するため、前月と比べて集合時間が1時間繰り上がっています。  
ご注意ください。
- コース 15時05分出発～祖師谷駅前～ふれあい遊歩道解散

自衛隊員を  
海外の戦場に  
送ってはならない



安倍9条改憲  
NO!

あなたはホントに覚悟ができていますか

自衛隊を憲法に書き込んだあとの事態について

- 自衛隊という「軍隊」に民主的正統性が与えられる
- アメリカの起こす戦争に加担し、海外で武装勢力と戦闘する
- 組織上は防衛省より上にあり、様変わりの強い発言力をもつことになる
- 総理大臣が自由に自衛隊を動かせる
- 自衛隊の活動範囲を広げると、防衛費を増加・軍需産業を育成・武器輸出を
- アジア諸国・中東イスラム諸国から軍隊をもった国と認識される。そして、日本を見る目が変わり、平和憲法を抛り所とする外交ができなくなる

安倍氏はこう言います

「自衛隊員が違憲と言われて可愛そう。自衛隊が違憲だという状態に終止符を打ちたい」。

また、こうも言います

「自衛隊を憲法に明記してもその任務や権限は変わらない。自衛隊明記案が国民投票で否決されても自衛隊の合憲性は変わらない。」

多くの怪しげな言い回しをしてきましたが、「なんにも変わりません」とは、なんと悪意に満ちた嘘でしょう

人柄が信頼できない安倍氏に、改憲はさせられない

政治的構想力を欠如している安倍氏に、改憲はさせられない

# アピール

私たち「成城・祖師谷九条の会」からの訴えです

私たちの思いをアピールし、町の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

みなさん、戦前の軍隊をもっていた日本に強い郷愁をもつ安倍氏は悲願の9条改憲しようとしています。

- ・ 「憲法に明記する自衛隊」は、もはや専守防衛、国内の災害救助で活躍する自衛隊ではありません
- ・ 2015年に強行採決された安保法制によって、「海外で戦争できる国づくり」への道が拓かれました。それでも、その歯止めとなっている憲法9条を変えてしまつてはなりません
- ・ 憲法9条の2として自衛隊を明記すると、9条全体として法解釈上の矛盾が生じます。法律の考え方では、後からできた条文が優先され、「戦力もたない、交戦権も認めない」とする9条2項は空文化されます。
- ・ 戦後70年を超え、世界に広く支持されてきた日本の平和国家ブランドを、安易に捨ててはなりません。いま日本はGDPの2倍以上の国と地方の借金を抱え、立国の柱であった技術が世界の流れに立ち遅れています。危険水域に入っている社会保障制度が事態の深刻さを示しています。課題先進国がもつべき危機感をもって経済立て直しを最優先課題と捉え、取り組もうとしない政治は私たちには無用です。憲法をいじっている場合ではありません。これが私たちの思ひです！

## ● 憲法9条改変反対

- ・ 「海外で戦争する自衛隊」を条文に明記・合憲化してはいけない
- ・ 海外でのフルスペックの武力行使に道を拓くこと—それは、戦争放棄を謳った日本の平和憲法の自殺行為です

## ● 武力は平和をもたらさない

- ・ 国際紛争解決の手だては、**戦争か外交か**—もちろん外交です
- ・ 軍拡は相手の軍拡を誘発するだけです。軍事的緊張を抑える外交こそが積極的平和主義です

## ● 核兵器禁止条約を批准しよう

- ・ 唯一の被爆国である日本は、核兵器廃絶運動の先頭に立たなくてはなりません
- ・ 使い易い小さな核などはありません。核戦争に勝者はありません

## ● 辺野古基地 新設反対

- ・ 沖縄知事選・住民投票で示された民意を受けとめることが、民主国家のなすべきことです
- ・ 治外法権を米国に与えている、日米地位協定を見直さなければなりません

## ● 持続ができないアベノミクスに幕引きを

- ・ 改革に正面から取り組まず、将来にツケをまわし続けるアベ経済政策を止めさせなくてはなりません
- ・ 日銀にカネを印刷させることでなく、産業の生産性向上の環境づくりをこそしなくてはなりません
- ・ 消費税増税で日本経済を萎縮させてはなりません

## ● 森友・加計問題 安倍氏の関与は明白だ

- ・ 友達に便宜をはかるなど、政治を私物化して平気な人に政治をさせてはいけない

## ● 霞ヶ関を菅官房長官のイエスマンから解放しよう

- ・ 官僚が官邸の顔色を見ない中立性を回復しよう。政治が官僚の人事をやってはならない

## ● アベ政治の暴走を終わらせよう

- ・ 戦争法、秘密法、新教育基本法をはじめ、多くの悪法・愚法（武器輸出3原則の緩和、日米防衛協力指針、共謀罪、働き方改革など）を強行採決してきたアベ政治の暴走を終わらせよう

## ● 市民の手で国会機能を取り戻そう—国会が官邸の下請けになってはいけない

民主的な社会を不断の努力によって維持していくことは、私たち市民の義務です

無関心でいるあいだに、リスクは積みあがっていきます

- 長い歴史を経て到達した「立憲主義」が意味するものは、次のこと
- 個人は社会の価値の源泉である (第十三条 など)
  - 権力は制限されねばならない (第九十九条 など)

その「立憲主義」に立脚し、武力によらず平和を希求しようとするのが今の **日本国憲法** です